議事日程第１号

令和８年７月３１日（金）

第１　会期の決定

第２　会議録署名議員の指名

第３　議案上程（議案第８０号から第８３号まで

及び報告第１１号から第１３号まで）

提案理由の説明（市長）、質疑

第４　決算特別委員会設置、付託

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（１６人）

１番　夏　井　博　子	２番　船　木　一　人	３番　小　野　　肇
４番　吉　田　洋　平	５番　進　藤　優　子	６番　佐々木　克　広
７番　蓬　田　　司	８番　安　田　健次郎	９番　佐　藤　　誠
１０番　畠　山　富　勝	１１番　猿　田　　真	１２番　鈴　木　元　章
１３番　太　田　　穣	１４番　古　仲　清　尚	１５番　船　木　正　博
１６番　三　浦　利　通		

欠席議員（なし）

議会事務局職員出席者

事　務　局　長	原　田　　徹
副　事　務　局　長	濱　野　美紀子
局　長　補　佐	三　浦　洋　平
主　席　主　査	中　川　祐　司

地方自治法第１２１条による出席者

市長	菅原広二	副市長	佐藤博
教育長	鈴木雅彦	監査委員	鈴木誠
総務企画部長	杉本一也	市民福祉部長	畠山隆之
観光文化スポーツ部長	三浦大成	産業建設部長	鈴木健
企業局長	湊智志	企画政策課長	夏井大助
総務課長	平塚敦子	財政課長	沼田弘史
病院事務局長	天野秀一	教育総務課長	湊留美子
監査事務局長	佐藤一明	企業局管理課長	（企業局長併任）
ガス上下水道課長	斉藤清彦		

午前１０時００分　開　　会

○議長（三浦利通）　皆さん、おはようございます。

これより、令和８年７月臨時会を開会いたします。

○議長（三浦利通）　直ちに本日の会議を開きます。

議事に入る前に、このたびの令和８年熊本地震により被災され、お亡くなりになられた方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表し、黙祷をもって御冥福をお祈り申し上げたいと思います。

御起立をお願いいたします。

黙祷。

（黙　祷）

○議長（三浦利通）　黙祷を終わります。

御着席をお願いいたします。

被災されました方々には、心からお見舞いを申し上げますとともに、各地の一日も早い復旧及び復興をお祈り申し上げます。

また、男鹿市議会といたしましても、災害義援金１６万円をお送りいたしますので、御報告させていただきます。

○議長（三浦利通）　これより議事に入ります。本日の議事は、議事日程第１号をもって進めます。

日程第１　会期の決定

○議長（三浦利通）　日程第１、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日１日といたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（三浦利通）　御異議なしと認めます。よって、会期は本日１日と決定いたしました。

日程第２　会議録署名議員の指名

○議長（三浦利通）　日程第２、会議録署名議員の指名を行います。

５番進藤優子議員、６番佐々木克広議員を指名いたします。

日程第３　議案第８０号から第８３号まで及び報告第１１号から第１３号までを一括上程

○議長（三浦利通）　日程第３、議案第８０号から第８３号まで及び報告第１１号から第１３号までを一括して議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

【職員朗読】

議案第８０号　令和７年度男鹿みなと市民病院事業会計決算の認定について

議案第８１号　令和７年度男鹿市上水道事業会計決算の認定について

議案第８２号　令和７年度男鹿市ガス事業会計決算の認定について

議案第８３号　令和７年度男鹿市下水道事業会計決算の認定について

報告第１１号　令和７年度男鹿みなと市民病院事業会計継続費精算報告書について

報告第１２号　債権の放棄について

報告第１３号　債権の放棄について

○議長（三浦利通）　提案理由の説明を求めます。菅原市長

【市長　菅原広二　登壇】

○市長（菅原広二）　皆さん、おはようございます。

初めに、このたびの令和８年熊本地震で犠牲となられた方々に対しまして、男鹿市民を代表し謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のために御尽力されている全ての方々に対し深く敬意を表します。

被災地では、住宅などの倒壊に加え、大型商業施設の爆発や製紙工場の煙突崩落など、今なお極めて深刻な状況にあると承知しております。さらに、引き続き余震と見

られる地震活動が発生していることに加え、最高気温が３５度を超える猛暑日が続くなど、過酷な状況が続いております。

被災地域の皆様の身の安全が確保されますとともに、速やかな復旧・復興を果たされますことを衷心よりお祈り申し上げます。

今臨時会におきましては、令和７年度男鹿みなと市民病院事業会計決算の認定など７件について御審議をお願いするものでありますが、提案理由の説明に先立ち、諸般の報告を申し上げます。

まず、市民応援プレミアム付商品券について申し上げます。

食料品を中心とした物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、４月１７日から販売を開始したプレミアム付商品券は、今月２４日をもって完売いたしました。

商品券は、プレミアム率２０パーセントで５万セットを発行し、市民の皆様にできるだけ広く行き渡るよう、一人３セットを上限としながら、年金受給者に配慮した販売開始日の設定や、曜日や祝日を問わず購入機会を確保したほか、まだ購入していない方や購入上限に達していない方へ継続して呼びかけた結果、３か月とじっくりと時間をかけて、多くの皆様に購入いただけたものと考えております。

市民からも「家計の助けになった」といった声が寄せられており、物価高騰対策として所期の目的を達成することができたと認識しております。

今後は、利用期限である９月３０日までに確実に御利用いただくよう、広報やホームページ、テレビ回覧板などを通じて周知してまいります。

次に、全国男鹿駅伝競走大会について申し上げます。

６月２７日、全国各地から１１６チームが参加し、第７３回全国男鹿駅伝競走大会が開催されました。

今大会も、全国屈指の強豪校が顔を合わせ、箱根駅伝や都大路の全国高校駅伝の前哨戦と位置づけて臨むチームも多く、まさに「全国」の名にふさわしいレベルの高いレースとなりました。

また、ＮＴＴ東日本株式会社秋田支店の協力をいただき、ＹｏｕＴｕｂｅでのライブ配信を行い、熱気あふれるレース運びを実況したほか、随所で本市のプロモーション動画を織り交ぜ、西海岸の絶景コースなど男鹿観光の見どころをアピールいたしました。当日の視聴回数は昨年並みの約１１万回でしたが、総再生時間は昨年の

１．５倍に伸び、視聴者からは、選手への熱い応援メッセージに加え、「景色がきれい」「男鹿に行きたくなる」といった声がチャットで多く寄せられ、本市のシティプロモーションとしても手応えを感じたところであります。

今回の成果を生かし、関係各位のお力添えをいただきながら、大会のさらなる進化を目指してまいります。

次に、日本海メロンマラソンについて申し上げます。

７月２６日、全国のマラソンファン３，７００名余りが参加し、第３８回日本海メロンマラソンが開催されました。

春以降のクマの出没状況を踏まえ、地元猟友会の協力を得て、安全対策を実施しながらの開催となりましたが、当日は、コース沿道での「地域のなまはげ」による応援や、近隣住民の方々の自主的な給水所の設置など、地域のおもてなしが随所に見られました。

大会恒例の完走後のメロンの振る舞いでは、例年以上に糖度が高くジューシーな特産メロンを存分に堪能いただき、本市ならではの「真夏の大会」として、多くのランナーに楽しんでもらうことができました。

開催に当たり、市内外の中高生など多くのボランティアや協賛企業の皆様、そして地域の方々の御理解と御支援をいただき、成功裏に終えることができたことに厚く御礼申し上げます。

本大会を通じて、特産のメロンやおもてなしの心など本市の魅力を存分にアピールし、さらなる交流につながるよう努めてまいります。

次に、男鹿ナマハゲロックフェスティバルについて申し上げます。

男鹿の夏を彩る風物詩として定着し、屋外公演１５回の節目となる「男鹿フェス」が、先週末、船川港内特設ステージで開催され、３日間で３９組のアーティストが出演し、延べ約１万７，０００人のファンが音楽の祭典を堪能しました。

多くのボランティアと一体となって作り上げる当フェスは、幅広い世代から支持され、関係人口の拡大や地域活性化の原動力となっており、今後も側面からの後押しを継続してまいります。

こうした大会・イベントに伴い市内の宿泊施設では、現在開催中の全国高等学校総合文化祭や県のキャンペーンの影響もあり、おおむね８割から９割の稼働状況となっ

ております。

特に男鹿駅周辺においては、宿泊の８割程度を男鹿フェスの来場者が占めている施設が多く、これまで課題となっていた、本市を訪れながらも市外に宿泊していた方々が市内に宿泊できるようになり、利便性が高まったものと考えております。

今後とも関係各所と連携しながら、イベントを契機とした滞在時間の延長と観光消費額の拡大に努めてまいります。

以上で諸般の報告を終わり、次に提案理由の御説明を申し上げます。

議案第８０号は、令和７年度男鹿みなと市民病院事業会計決算の認定を求めるもので、当年度は１億８，５５６万円の赤字となりました。

議案第８１号から第８３号までは、令和７年度男鹿市企業局各事業会計決算の認定を求めるもので、上水道事業会計においては３，０９１万円の赤字、ガス事業会計においては４，６０５万円の赤字、下水道事業会計においては１億８，３６２万円の黒字となりました。

次に報告でありますが、報告第１１号は、男鹿みなと市民病院の施設長寿命化改修事業に係る継続費の精算について報告するものであります。

報告第１２号及び１３号は、令和７年度に放棄した債権のうち、診療費及び水道料金等に係る債権について報告するものであります。

以上、提案理由について御説明を申し上げました。よろしく御審議の上、御認定賜りますようお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（三浦利通）　これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（三浦利通）　質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

日程第４　決算特別委員会設置、付託

○議長（三浦利通）　日程第４、決算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。議案第８０号から第８３号までについては、委員会条例第６条の規定に基づき、議会選出監査委員を除く議員１５人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査といたしたいと思います。これに御

異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（三浦利通）　御異議なしと認めます。よって、議案第８０号から第８３号までについては、議会選出監査委員を除く議員１５人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査とすることに決しました。

なお、決算特別委員会は、８月３日午前１０時より議事堂に招集いたします。

以上、告知いたします。

○議長（三浦利通）　以上で、本日の議事は終了いたしました。

これにて７月臨時会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午前１０時１５分　閉　　会

会　議　録　署　名　議　員

議　　長　　三　浦　利　通

議　　員　　進　藤　優　子

議　　員　　佐々木　克　広